春たけなわ

お大師参り

遍照金剛の声も高からかに今を盛りの桜の下を行く手甲、きゃはん、菅笠姿で五穀豊穣を祈願し八十八ケ所の札所を巡礼するお大師参りさん

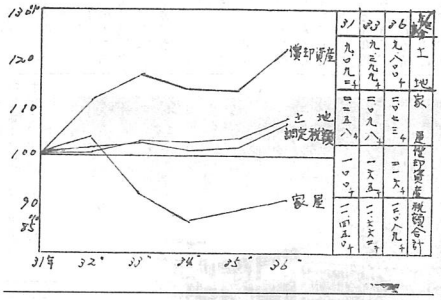
遠く万延の昔、八日市場、登戸に住む権右衛門なる者四国より大師の尊像を奉じて帰り新八十八ケ所を作ったのが当地方の大師参りの始まりと云う。

昭和36年度の固定資産税はあがつたか

皆様すでに御承知のとおり今年度は固定資産の評価基準年度であり、新に土地家屋等の評価がえを行い課税いたしましたが、この値あがりは全国的な値あがりであり、当町に於ても指示平均価格等の値あがりに伴い、土地で約四パーセントの値あがりとなり、調定額に於て四拾万円位の増税となつて居ります。家屋については従前とさして変りはないが、増改築に伴い多少の評価がえを行つてありますので、今まで固定資産税が免税となつていた方でも本年は固定資産税を納めることとなる場合もありますので、あらかじめ了承して下さい。

それでは固定資産税の課税状況を別表により比較してみましょう。

この表は昭和三十一年度を基準とした変動図です。土地はさして変りませんが家屋は下降をたどり償却資産は相当の上昇を示しております。しかしこれは対照資産が多くなったためです。



年度	31	33	36
土地	九〇九千円	九三九九千円	一八八〇九千円
家屋	三三五八千円	二三九八千円	二三七三千円
償却資産	一三〇千円	一三五千円	二二八千円
税額合計	一二四五千円	一二三五千円	一三八九千円

農事相談

ツマグロヨコバイを防除して水稲の黄萎病を防ぎましょう

【光農業改良普及所】

早期栽培が急速に普及していらい、稲の黄萎病が各地で次第に増加しており、香取郡下総町などでは、収量の半減した処があります。

光町でもきょ年、日吉、南条地区に黄萎病が発生しており、部落によってはツマグロヨコバイの大発生が見られたので、ことしはじゅうぶんな計画を立て、共同防除を実施しましょう。

病気にかかってからでは手おくれです。

【黄萎病の伝染】

◎黄萎病の媒介者であるツマグロヨコバイは成虫あるいは幼虫態で越冬し、一〇〇～二〇〇の産卵をしながら、年間五世代を繰返します。

◎このツマグロヨコバイの保毒虫が越冬し、春四月下旬ごろから活動を始め稲に加害すると一～二ケ月后に発病します。

そこで保毒虫を苗代から本田初期の分けつ最盛期ごろまでよせつけないように越冬虫を撲滅することが大切です。

【防除法】

◎防除はできるだけ広い範囲を共同で一斉に防除することが大切で、個人防除では効果がありません。

◎薬剤は三回散布とし苗代で二回、本田一回とします。

◎苗代期の才一回は除紙直前に苗代およびその周辺の田、畦畔、堤および山すそ五メートル位い上まで全面に薬剤を散布します。

◎才二回は苗代後期に散布することで、このころになると本田は耕起代掻の時期になり、ツマグロヨコバイは畦畔に集るので、畦畔を含めて全面に薬剤を散布します。

◎才三回は本田初期で植付け後七～十日後に畦畔を含めて全面に散布します。

【薬剤使用規準】

◎マラソン乳剤一、〇〇〇倍液散布

マラソン粉剤十アールあたり三キログラム撒布

国民年金を正しく理解していただくために

国民年金の届出は町民の皆様の御理解ある御協力によって、強制加入者はほとんど届出を終り国民年金手帳が交付になった事と思いますが、転入者や都合で未だ届出をしていない人は、一人も漏れなくすみやかに届出を完了する様御願いします。

国民の福祉に直結する国民年金の正しい姿を知っていただくために「問題点とその推移」についておしらせいたします。国民年金については一部に反対論があり、またいくつかの問題点がありますが要約すると次の三点にあると思はれます。

(1)積立金の運用をどうするか

(2)途中で死んだ場合の保険料はかけすてになるか

(3)老令年金の支給開始年令が六十五才ではおそすぎる

以上の問題ほどの様に解決されることになり、(3)についても現行法では六十五才から支給が始まることとなってますが、希望によって六十才からでも支給され、その額は本来の額の大体六割といふことになり終身支給されることになる。以上の様に問題点については始んと解決され、またその方向もはっきりと示されてゐますので、今後の保険料徴収組織等についても、今後町民の皆さんの御協力を特にお願いいたします。

(1)については積立金の二十五%程度で医療施設、老人ホーム、簡易水道等で本年度から県を通じて全国で七十五億円が融資される。(2)については三年以上保険料を納めた期間がある被保険者が死亡した場合、その者の配偶者、子、父母等の順序で支給され、その額は保険料を納めた期間により八階級に分れ、最低五千円から五万二千円迄死亡一時金が支給されることに法の改正が行はれる。

統合一年の答れ

統合中学は実質的に前進しないのが世間の通例と思はれてきましたので本校は特にこの点今職員が努力してきました。

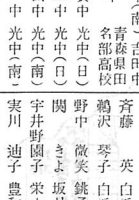
第一年としては一応の成果を収めたものと関係者一同喜んで居ります。

その成果の一部として優勝旗等をまとめて御覧にいれます。

昭和三十五年度の優勝次のとおり。

郡市中学校野球大会。同新人野球大会。陸上競技大会。駅伝大会。庭球大会。珠算競技会。音楽会（光中学校長）

みんなの協力で春の防犯



暖かくなると身も心もゆるみがちです。いま春の防犯運動を行っていますが、春は色々な犯罪が多くなりますので次のことには特に注意が必要です。

1 泥棒は留守をつけ狙います。留守でるときの注意を

2 夜寝るときは室内は暗くして戸締りは小窓など細かいところも完全に

3 不良等にたかられたり乱暴された時はすぐ届出を

4 自転車を店先、軒下におくときは先づカギをかけて

5 女の夜道の一人歩きは遠くても明るい道を

6 少年の非行は不良化の第一歩です

7 青少年から刃物を追放しましょう。

8 押売り、物もらいは隣近所連絡して早く届出を

犯罪を防ぐためには皆さん一人一人のご協力が大切です。お互いに注意し助け合って犯罪をなくし、明るい住みよい社会にしましょう。

（八日市場警察署）

人事消息

・区長改選

四月一日から町の区長が一斉に替り左の方々が新しい区長となりました。

部落名	新区長名
篠本一区	宇井　一
篠本二区	森　茂
篠本三区	伊藤　常夫
新井	土井　義照
宝米	土屋　正
市野原	小川　実
二又	川島　清
母子	鈴木　真清
台	伊藤　俊雄
小田部	山崎　英一
小川台	鈴木　正三
傍示戸	戸村　三郎
富下	加瀬　順康
虫生	土屋　一雄
芝崎	野村　昇
作間内	向後道次郎
宮内	藤城　博
古屋	大木　光
上宮川	斉藤　浩
桑郷	斉藤　順一
西高野	馬場幸太郎
谷中	越川　初雄
入	早川規矩治
篠原	越川　清
原方	加瀬　栄治
辻	小川　武司
木戸	畔蒜　有朋
長塚	伊橋　勇
五之神	椎名　啓司
尾垂五区	伊藤　知徳
尾垂六区	伊藤　政吉
高野	大木子之助
谷	向後　公平
山柄	川島　輝治
関	清宮　孝徳

・光町立小・中学校教職員の異動

昭和35年度末光町立小・中学校教職員の人事異動は次のとおりであります。

氏名	新	旧
大木　八郎	光中（南）	吉田中
黒部　信義	光中	青森県但名部高校
伊藤　孝一	須賀中	光中（日）
川田　恭子	旭二中	光中（日）
玉沢　研一	流山中	光中（南）
高橋　八日市一中	光中（南）	日吉小
川島　達也	日向小	日吉小
畔蒜　護	日吉小	光中
越川　晴重	日吉小	而磯小
杉山　直子	日吉小	新採
椎名　年子	白浜小	日吉小
熱田　彦七	而磯小	日吉小
実川　竜一	南条小	千葉轟小
伊藤　節子	東陽小	南条小
斉藤　英	白浜小	東陽小
鵜沢　琴子	白浜小	椿海小
野中　微笑	銚子六中	白浜小
関　きよ	坂月小	白浜小
斉井野園子	栄小	白浜小
実川　迪子	豊和小	白浜小
上石に子	光中	南条小

巷の声

「町づくり」ということばがよくきかれる。

いまや、われわれの県都を中心に京葉工業地帯が海面を埋め立てて実現しつつあり、直ぐ隣りには東洋高圧が誘致された。将に世は挙げて建設ムードである。所得倍増が唱えられ、農業改造が論ぜられる。成長の速い経済界から、いまにも置いてき放りを喰いそうな不安が私に焦慮を覚えさせる。強ち私だけのことではあるまい。

よい子の作品

母の手

日吉小六年　山崎雅子

母は夜になると
手にばんそうこうをはる
母の手はよわった布のようだ
なにげなく
母の手をさわる
かる石のようだ
わたしも大きくなったら母の
手のようになるのかと思う
母の手と私の手をとりかえて
やりたい
私はだまって母の手をみつめた

編集後記

町に有線が実現し、上って着々と町はいるが、時創意を活しが未だ町民に何の欠陥によるん甚だ心配、次第である。

地方自治の精神が住民の福祉増進にある以上、町政を預る町長は申すに及ばず議席を有する選良諸賢は、在野当時の自由な立場で培い得た抱負と経倫を願い、町発展のため公約を早す好りを惜しまれないことは勿論、自信と責任を持って我々町民のられたい。

新町計画か、素晴しと夏っていて企画は慎重にいが、要は判力にある。「こ「人手が足りない」「何がないい……」では政治ではない。私達の町にとって一番たりないものは、個性のある政治ではなかろうか。

――ひかり愛読者――

物事を知るには目で見、耳で聞くと昔から云はれる。町民の方々に町勢発展のため協力を戴くには先づ町事情を充分に知り諒解して貰う事が第一である。

昨年から開始された有線放送でいろ〳〵な町の事柄を毎日お知らせして居りますが、加入者数から見て有線によるお知らせの範囲は五〇%に足りません。

この面よりしても今町民に対する広報機関として「ひかり」の役割は最も重要なものであります。

昭和三十六年度第一号を町民各位のお手許に送るに当りわれ〳〵編集局一同は本年こそと努力を続ける覚悟でおります。